

5. 施策の評価

有効性の評価	この施策の 成果の達成度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	成果向上の 可能性はどうか		1 十分ある	2 ある程度ある	3 あまりない	4 ない
	説明	施策指標の評価対象年度（今回は平成29年度）目標値に対する実績値比較と、平成30年度の目標値に向けた進捗状況を評価しています。				
	市政全般に対する 貢献度はどうか		1 高い	2 やや高い	3 やや低い	4 低い
	説明	評価対象年度に、この施策を構成する事務事業を実施した結果、上位政策の推進に向けての取り組みとして、どれくらい貢献できたのかを評価しています。				

6. 施策の課題

この施策の課題	「3. 施策の現状分析」～「5. 施策の評価」を通じて把握した問題点を踏まえて、この施策の問題点・課題等を記載しています。
---------	---

7. 次年度以降の施策の方向性

総合評価 1次評価	次年度以降の方向性		1 強化する	2 維持する	3 縮小する
	説明	今後のこの施策の方向性を予算や人員配置等も含めてどのようにしていきたいかということに記載しています。			
総合評価 2次評価	次年度以降の方向性		1 強化する	2 維持する	3 縮小する
	説明				

8. 構成事業の方向性（それぞれの事務事業における今後の最善手段を検証する）

1次評価	説明	この施策を実施していくにあたり、施策目的を実現する手段である個々の事務事業の検証をしています。施策を構成する事務事業に、必要性や重要性が低くなり廃止や縮小すべきものは無いか、またその逆は無いかなどを記載しています。
2次評価	説明	

9. 施策を構成するそれぞれの事務事業の評価

※下記評価の解説

- ・貢献度－事務事業評価の結果をもとに、この施策での貢献度(重要度)を絶対評価で示しています。
(a: 不可欠かつ施策の中核をなす事業、b: 不可欠な事業、c: 不可欠ではないが実施が望ましい事業、d: あまり有効ではない事業)
- ・方向性－事務事業評価の結果をもとに、この施策からみた各事務事業の今後の方向性を絶対評価で示しています。
(拡大する、見直しながらかつ続ける、縮小する、廃止又は休止する、完了する)
- ・優先度(ソフト事業(任意)のみ)－施策内での事務事業の優先度を相対評価で示しています。
(優先度が高い順に A、B、C、D)

この施策を構成する事務事業の概要を、事務事業単位で評価した内容等を記載しています。

この施策に関連する事務事業評価の内容(評価内容の転記)

施策評価

戦 略
大 綱

No.	課名、事務事業名 及び事業種別	事業の内容	事業の方向性及び H29決算額	貢 献 度	方 向 性	優 先 度 (ソフト任意)	戦 略	大 綱
1	()	<p>平成29年度の事務事業実施結果を基に、施策単位からみた事務事業の今後の方向性を「拡大する」「見直しながらかつ続ける」「縮小する」「廃止又は休止する」「完了する」のいずれかで評価しています。</p> <p>ソフト事業(任意)について、この施策を構成する事務事業の中での優先度を、相対評価によりA～Dの4段階で評価しています。</p>						
2	()	<p>平成29年度の事務事業実施結果を基に、施策単位からみた事務事業の貢献度を、絶対評価により、a～dの4段階で評価しています。</p> <p>.....</p> <p>a : 当該施策にとって不可欠な事業であり、中核をなすものである</p> <p>b : 当該施策にとって不可欠な事業である</p> <p>c : 不可欠な事業とまではいえないが、実施することが望ましい事業である</p> <p>d : 当該施策にとってはあまり有効ではない事業である</p>						
3	()							
4	()		(千円)					
5	()		(千円)					
6	()		(千円)					
7	()		(千円)					
8	()		(千円)					

檀原市まち・ひと・しごと創生総合戦略、第5次檀原市行政改革大綱実施計画に関連する事務事業には、「○」印が入っています。